

～ 災害に強い砂防の整備 ～

姥ヶ谷 急傾斜地崩壊対策事業

(島田市阿知ヶ谷)

●事業概要

【事業目的】土砂災害から住民の方々の生命及び財産を守ります

姥ヶ谷地区は、静岡県島田市南部に位置し、保全対象として人家16戸を含む急傾斜地である。

島田市内には急傾斜地崩壊危険箇所が493地区と集中しており、特に当該地区周辺の斜面は、斜面の荒廃が進行し、豪雨等による斜面崩壊の危険性が高く、早急に崩壊防止対策を実施する必要がある。

なお島田市では、土砂災害ハザードマップの全戸配布及び危険箇所看板の設置等のソフト対策を鋭意進めている。

【全体計画】

事業費 261百万円 擁壁工 L=197.5m

事業期間 平成26年度～平成31年度(予定)

【平成27年度の事業内容】

擁壁工 L=26.5m

用地交渉 N=1式

物件調査 N=1式

【平成28年度の事業内容】

擁壁工 L=49.9m

【平成29年度の事業内容】

擁壁工 L=41.0m

【平成30年度の事業内容】

擁壁工 L=51.5m

【平成31年度の事業内容】

擁壁工 L=32.5m

位置図

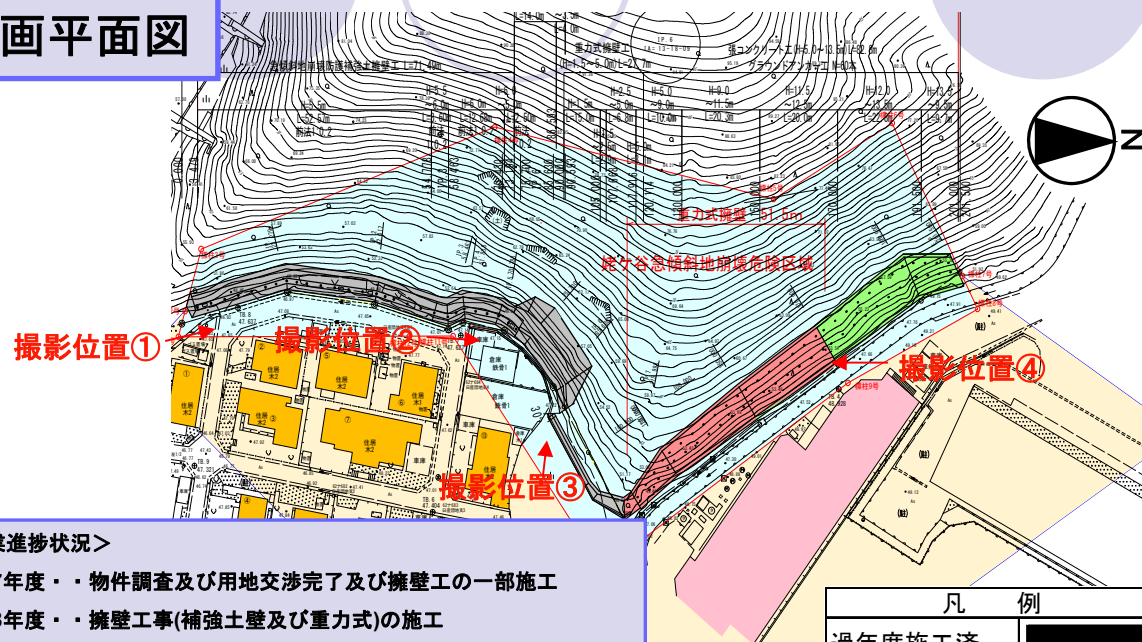


【お問合せ先】 静岡県島田土木事務所 工事第1課 電話：0547-37-5275

平成31年1月31日

姥ヶ谷 急傾斜地崩壊対策事業 (島田市阿知ヶ谷)

計画平面図

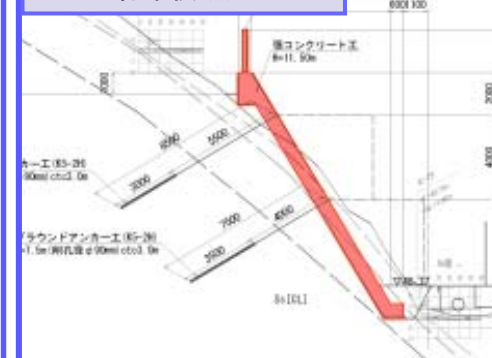


<事業進捗状況>

- ・ H27年度 ・ 物件調査及び用地交渉完了及び擁壁工の一部施工
- ・ H28年度 ・ 擁壁工事(補強土壁及び重力式)の施工
- ・ H29年度 ・ 擁壁工事(重力式擁壁)の施工
- ・ H30年度 ・ 擁壁工事(張コンクリート式擁壁)の施工実施中
- ・ H31年度 ・ 擁壁工事(張コンクリート式擁壁)の施工予定

凡 例	
過年度施工済	
今年度施工区間	
来年度以降施工	

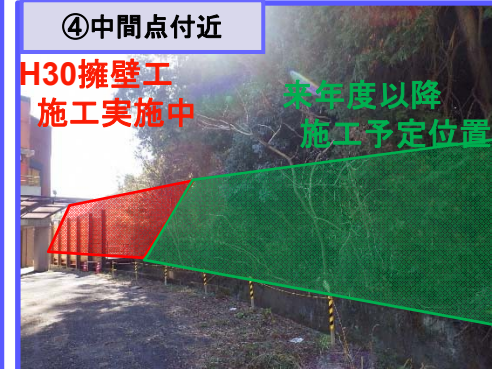
標準横断面図



④中間点付近

H30擁壁工
施工実施中

来年度以降
施工予定位置



①起点付近



②中間点付近



③中間点付近

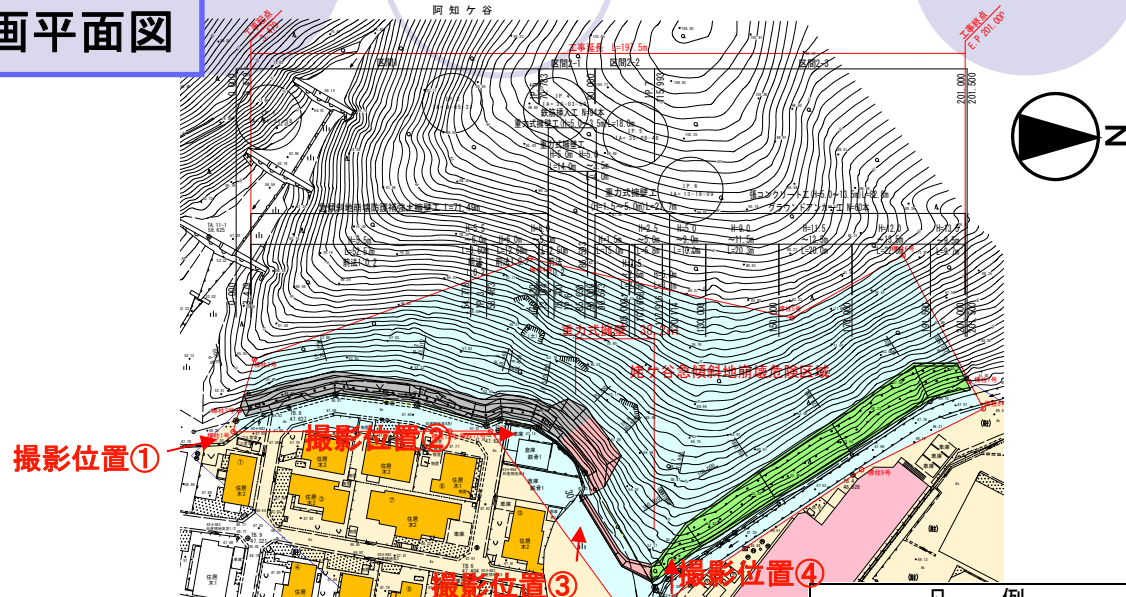
斜面と人家の間に擁壁を設置することによって、土砂災害から人命・財産を守ります。



平成30年2月28日

姥ヶ谷 急傾斜地崩壊対策事業 (島田市阿知ヶ谷)

計画平面図

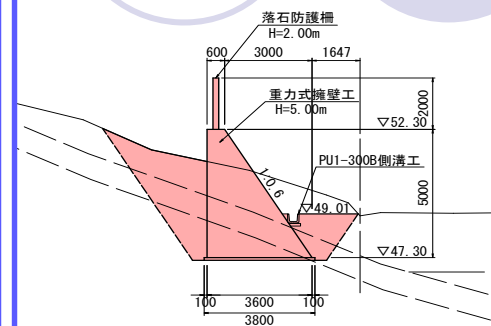


<事業進捗状況>

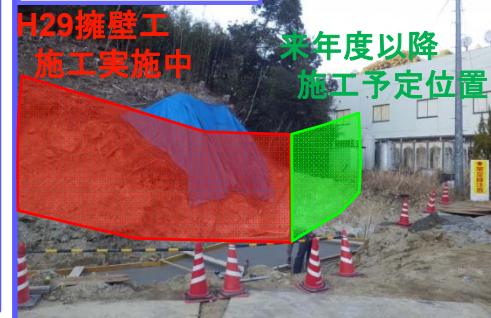
- ・ H27年度 ・ 物件調査及び用地交渉完了及び擁壁工の一部施工開始。
- ・ H28年度 ・ 擁壁工事(補強土壁及び重力式)の施工。(補強土壁完成)
- ・ H29年度 ・ 擁壁工事(重力式擁壁)の施工予定

凡 例	
過年度施工済	
今年度施工区間	
来年度以降施工	

標準横断面図



④中間点付近



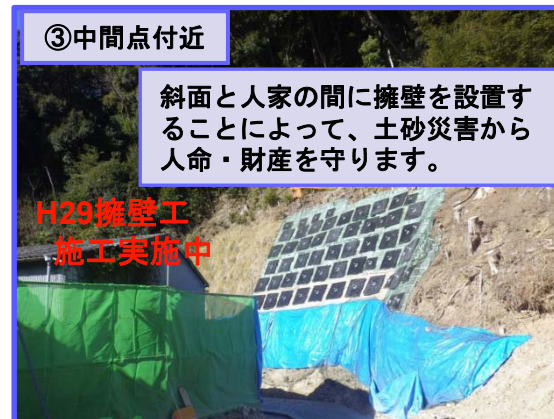
①起点付近



②中間点付近



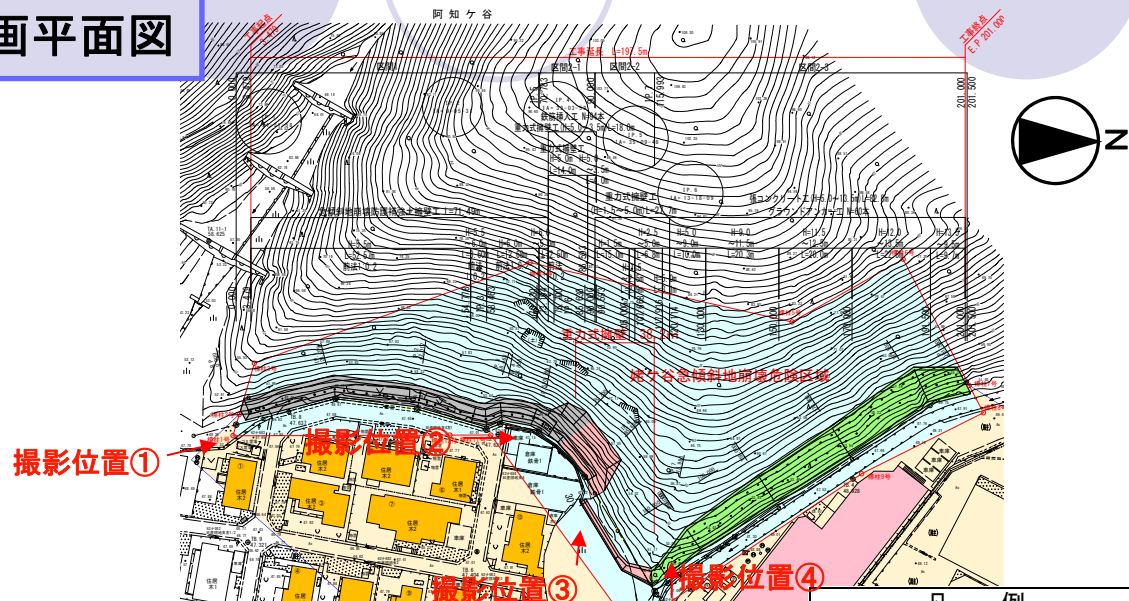
③中間点付近



平成29年12月15日

姥ヶ谷 急傾斜地崩壊対策事業 (島田市阿知ヶ谷)

計画平面図

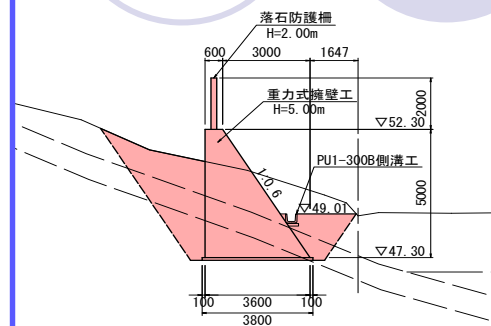


<事業進捗状況>

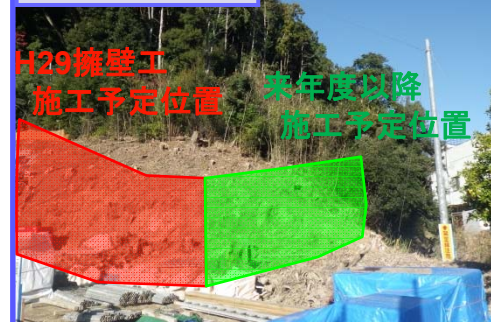
- ・ H27年度・・ 物件調査及び用地交渉完了及び擁壁工の一部施工開始。
- ・ H28年度・・ 擁壁工事(補強土壁及び重力式)の施工。(補強土壁完成)
- ・ H29年度・・ 擁壁工事(重力式擁壁)の施工予定

凡 例	
過年度施工済	
今年度施工区間	
来年度以降施工	

標準横断面図



④中間点付近



①起点付近



②中間点付近



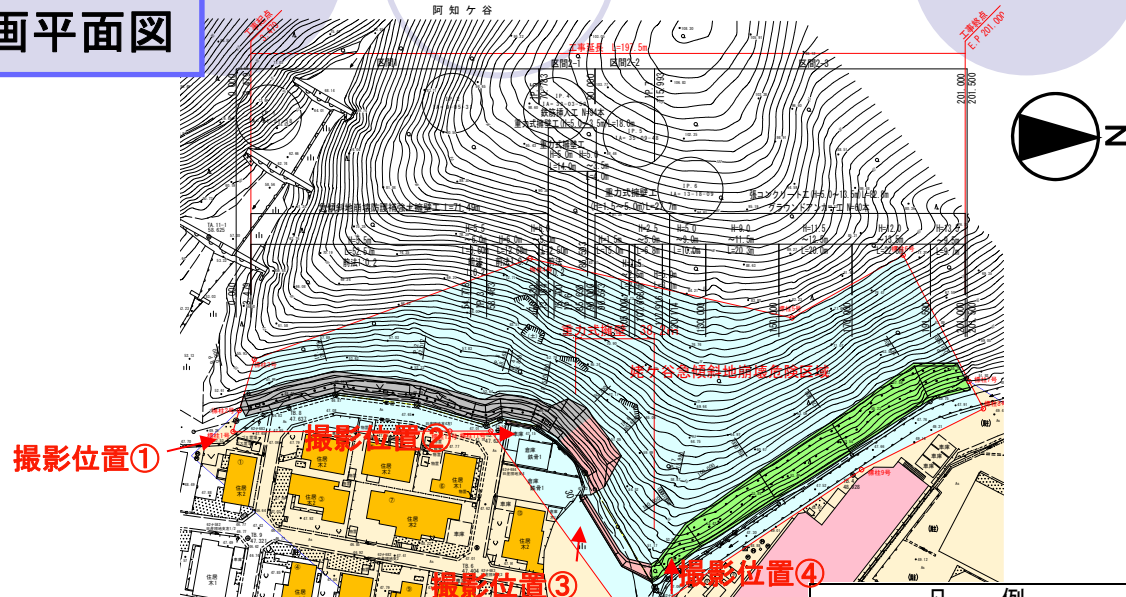
③中間点付近



平成29年8月17日

姥ヶ谷 急傾斜地崩壊対策事業 (島田市阿知ヶ谷)

計画平面図

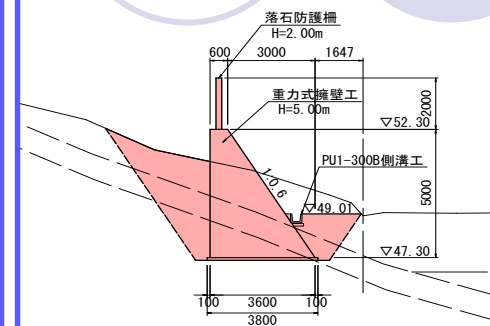


<事業進捗状況>

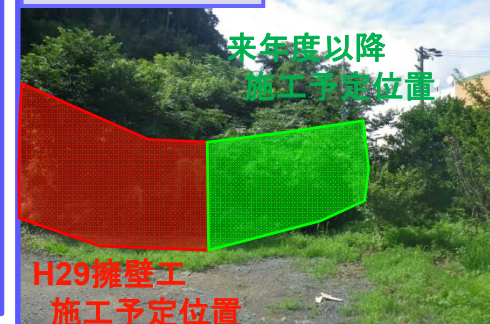
- ・ H27年度 ・ 物件調査及び用地交渉完了及び擁壁工の一部施工開始。
- ・ H28年度 ・ 擁壁工事(補強土壁及び重力式)の施工。(補強土壁完成)
- ・ H29年度 ・ 擁壁工事(重力式擁壁)の施工予定

凡 例	
過年度施工済	
今年度施工区間	
来年度以降施工	

標準横断面図



④中間点付近



①起点付近



②中間点付近



③中間点付近

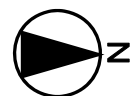


平成29年2月18日

姥ヶ谷 急傾斜地崩壊対策事業 (島田市阿知ヶ谷)

計画平面図

標準横断面図



撮影位置① →

← 撮影位置②

↑ 撮影位置③

<事業進捗状況>

- ・ H27年度 ・ 物件調査及び用地交渉完了及び擁壁工の一部施工開始。
- ・ H28年度 ・ 擁壁工事(補強土壁及び重力式)の施工予定

凡	例
過年度施工済	
今年度施工区間	
来年度以降施工	

擁壁工施工状況(H29.2.28)



①起点付近



②中間点付近



③中間点付近

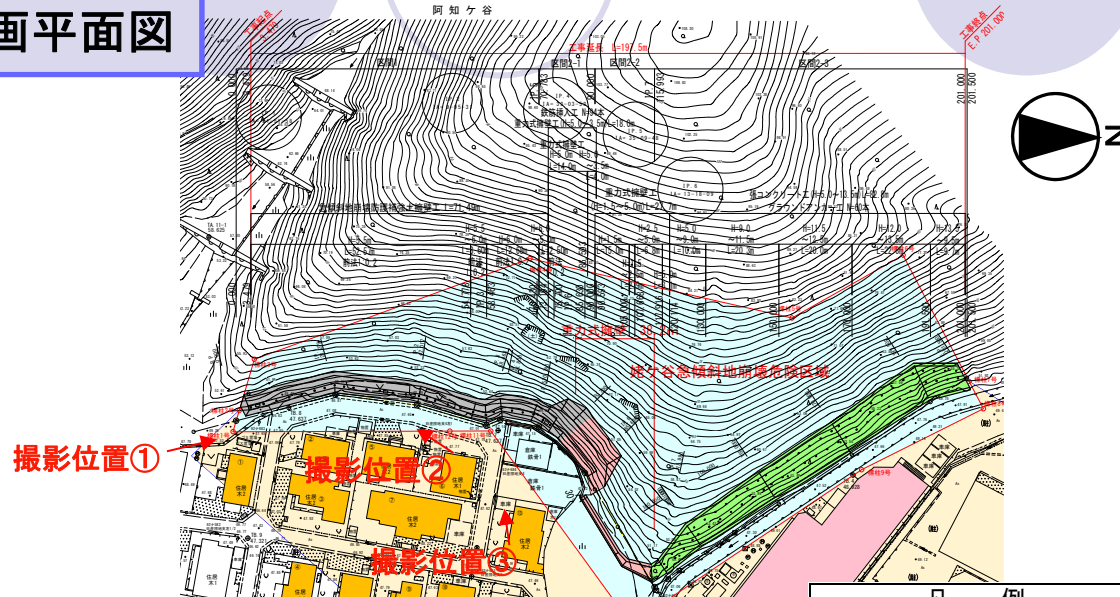


斜面と人家の間に擁壁を設置することによって、土砂災害から人命・財産を守ります。

平成29年8月18日

姥ヶ谷 急傾斜地崩壊対策事業 (島田市阿知ヶ谷)

計画平面図

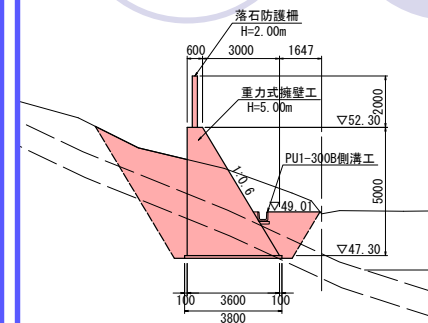


<事業進捗状況>

- ・ H27年度 ・ 物件調査及び用地交渉完了及び擁壁工の一部施工開始。
- ・ H28年度 ・ 擁壁工事(補強土壁及び重力式)の施工。(補強土壁完成)
- ・ H29年度 ・ 擁壁工事(重力式擁壁)の施工予定

凡 例	
過年度施工済	
今年度施工区間	
来年度以降施工	

標準横断面



擁壁工施工状況(H29.2.28)



①起点付近



②中間点付近



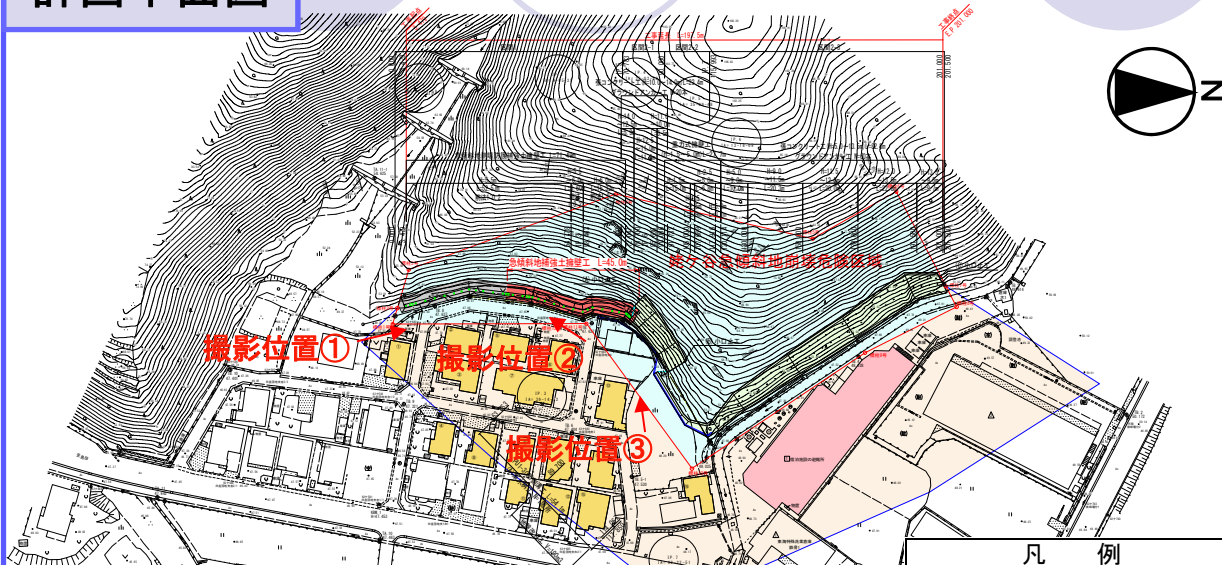
③中間点付近



平成28年11月30日

姥ヶ谷 急傾斜地崩壊対策事業 (島田市阿知ヶ谷)

計画平面図

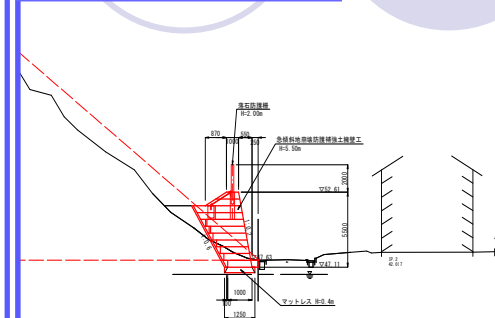


<事業進捗状況>

- ・ H27年度 ・ 物件調査及び用地交渉完了及び擁壁工の一部施工開始。
- ・ H28年度 ・ 擁壁工事(補強土壁部)の施工予定。

凡 例	
過年度施工済	黒色
今年度施工区間	赤色
来年度以降施工	緑色

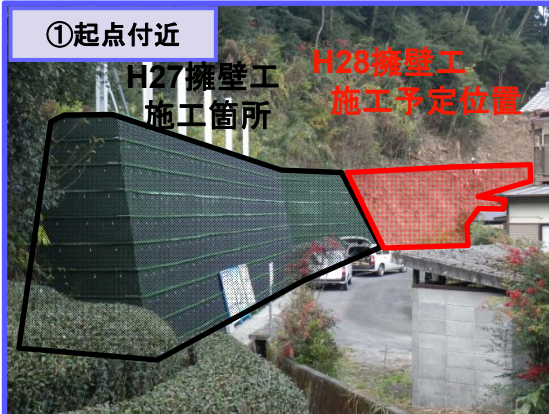
標準横断面図



擁壁工施工状況 (H28.11.30)



①起点付近



②中間点付近



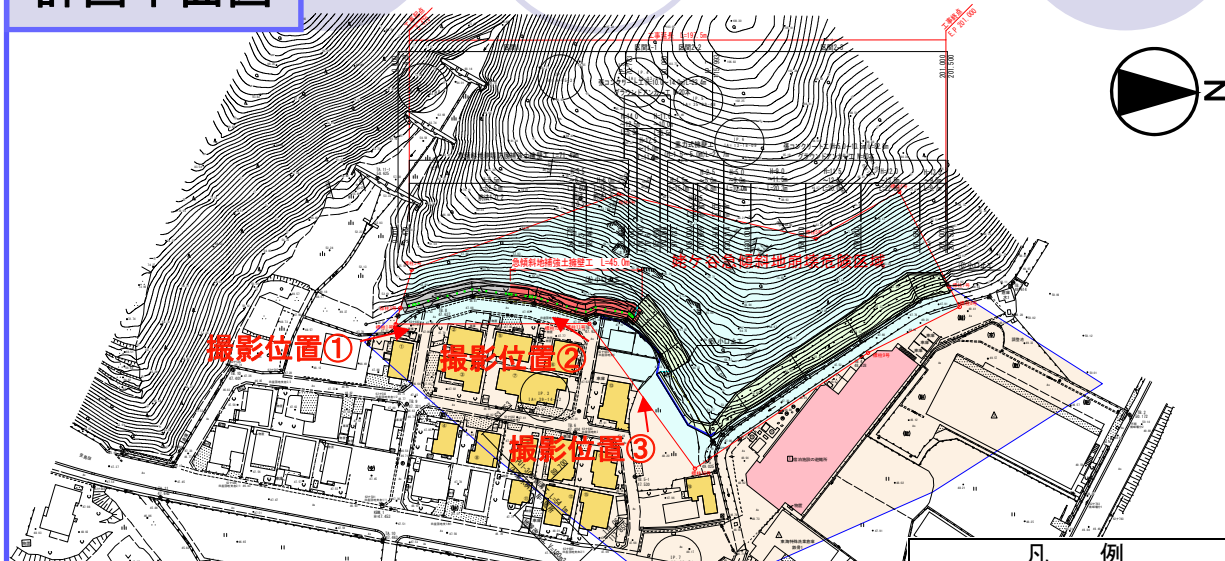
③中間点付近



平成28年5月20日

姥ヶ谷 急傾斜地崩壊対策事業 (島田市阿知ヶ谷)

計画平面図

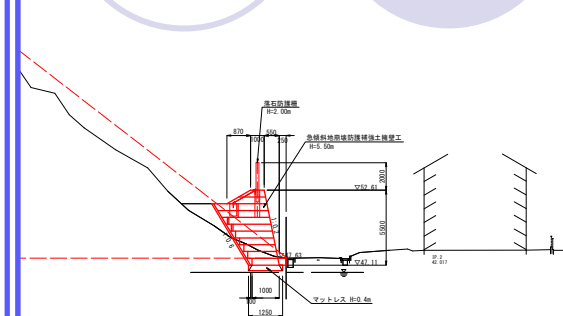


<事業進捗状況>

- ・ H27年度 ・ 物件調査及び用地交渉完了及び擁壁工の一部施工開始。
- ・ H28年度 ・ 擁壁工事(補強土壁部)の施工予定。

凡 例	
過年度施工済	黒色
今年度施工区間	赤色
来年度以降施工	緑色

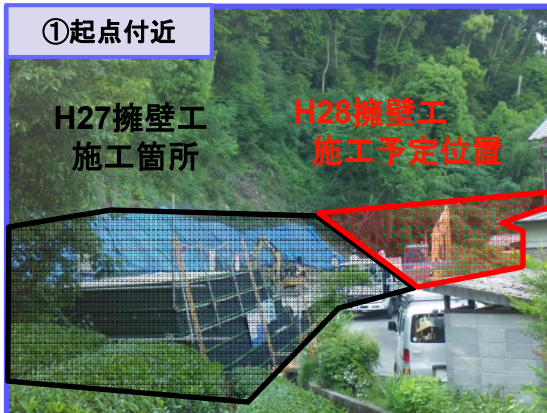
標準横断面図



擁壁工施工状況(H28.5.20)



①起点付近



②中間点付近



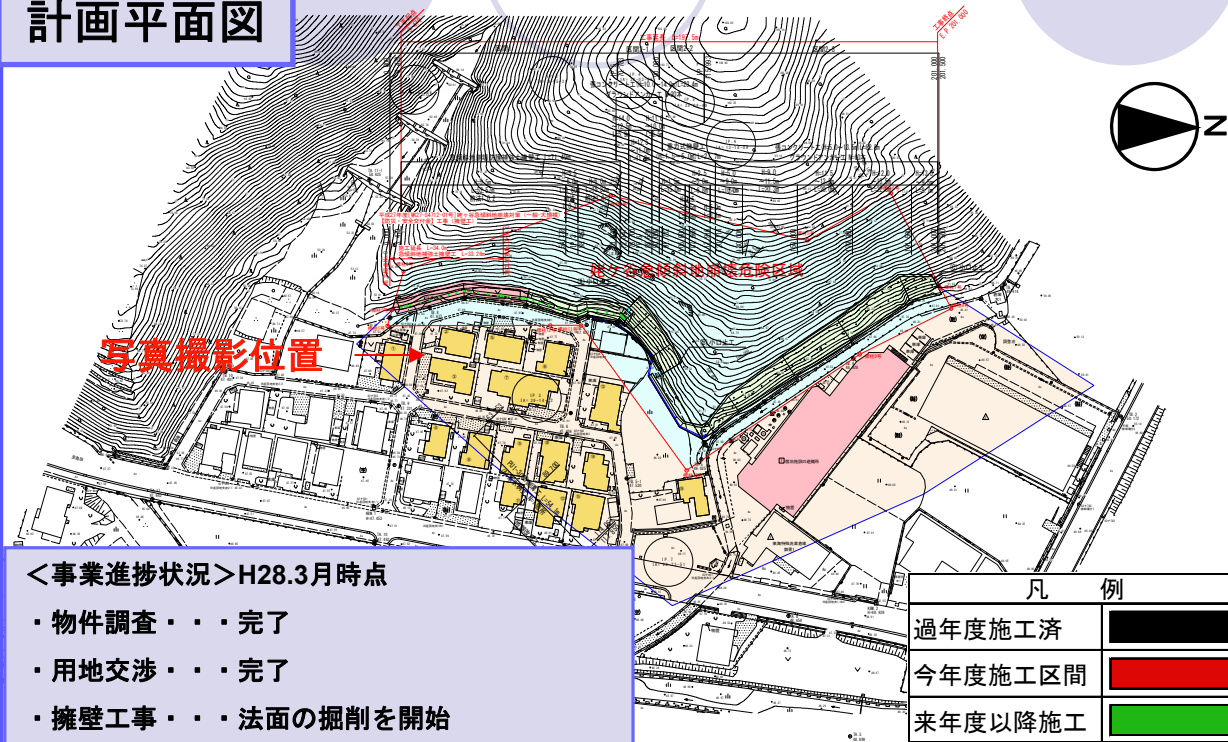
③中間点付近



平成28年3月11日

姥ヶ谷 急傾斜地崩壊対策事業 (島田市阿知ヶ谷)

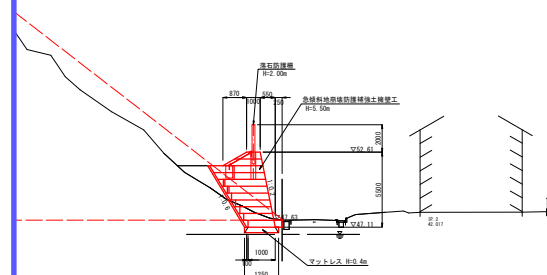
計画平面図



<事業進捗状況> H28.3月時点

- ・ 物件調査・・・完了
- ・ 用地交渉・・・完了
- ・ 擁壁工事・・・法面の掘削を開始

標準横断面図



法面掘削状況 (H28.3.11)



【全景】

起点から終点を望む

H27擁壁工 施工予 positioning

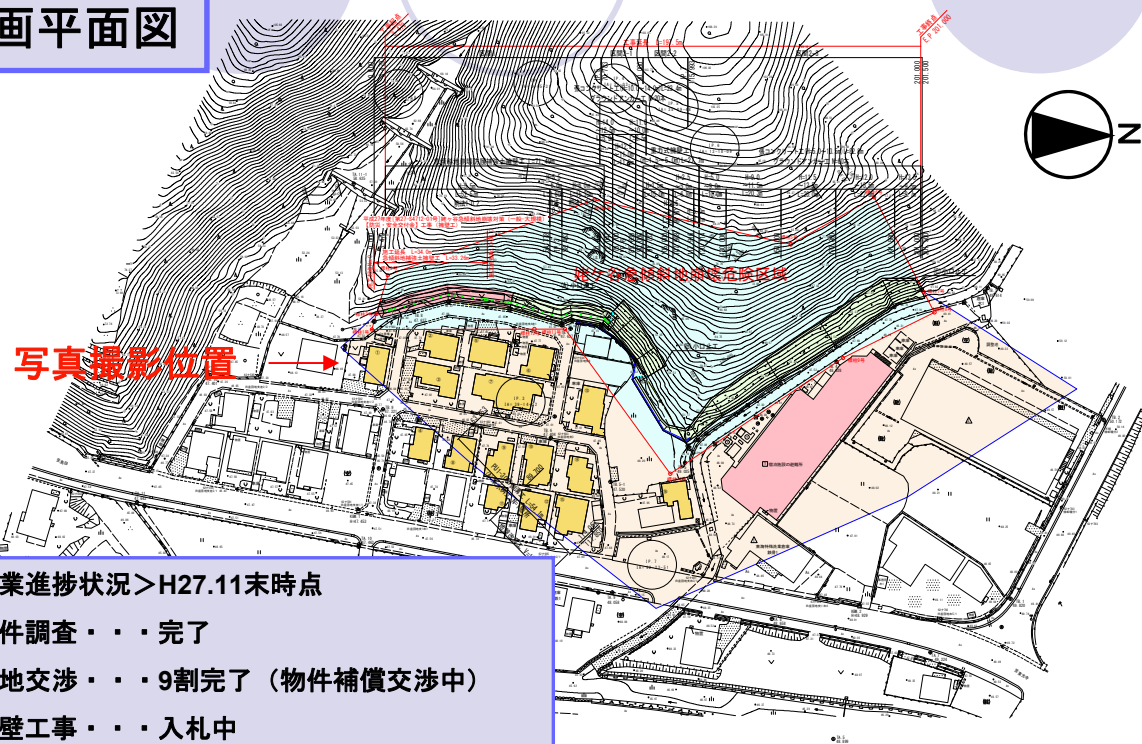
斜面と人家の間に擁壁を設置することによって、土砂災害から人命・財産を守ります。



平成27年11月30日

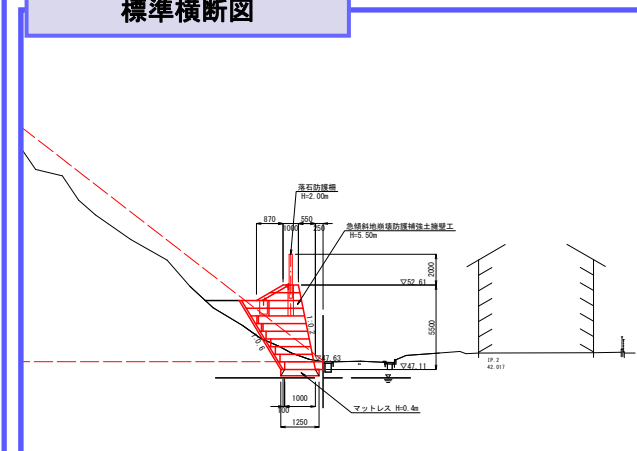
姥ヶ谷 急傾斜地崩壊対策事業 (島田市阿知ヶ谷)

計画平面図



凡 例	
過年度施工済	黒色
今年度施工区間	赤色
来年度以降施工	緑色

標準横断面図



<事業進捗状況> H27.11末時点

- ・ 物件調査・・・完了
- ・ 用地交渉・・・9割完了（物件補償交渉中）
- ・ 擁壁工事・・・入札中

【全景】

起点から終点を望む

H27擁壁工 施工予定位置

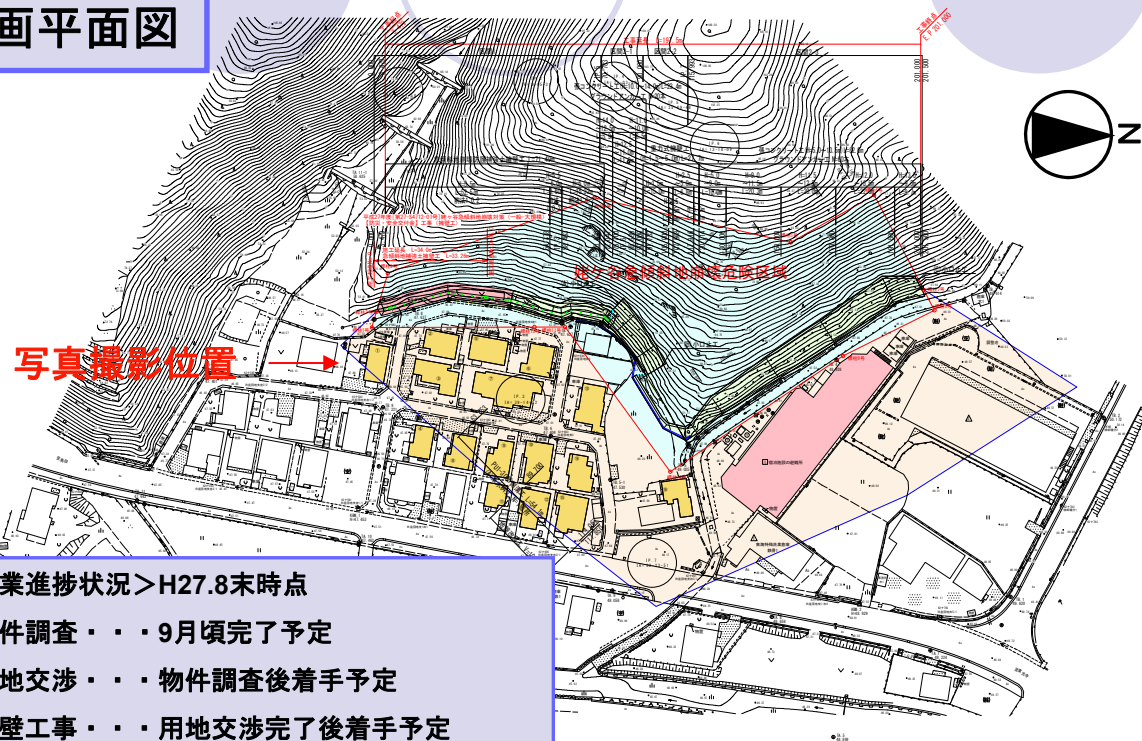
斜面と人家の間に擁壁を設置することによって、土砂災害から人命・財産を守ります。



平成27年8月26日

姥ヶ谷 急傾斜地崩壊対策事業 (島田市阿知ヶ谷)

計画平面図

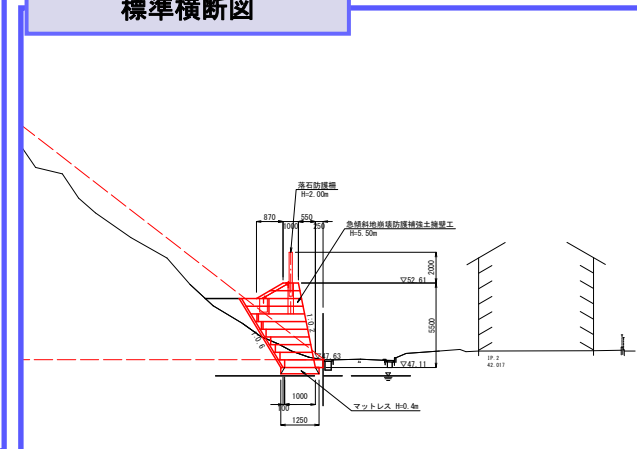


<事業進捗状況> H27.8月末時点

- ・ 物件調査・・・9月頃完了予定
- ・ 用地交渉・・・物件調査後着手予定
- ・ 擁壁工事・・・用地交渉完了後着手予定

凡 例	
過年度施工済	黒色
今年度施工区間	赤色
来年度以降施工	緑色

標準横断図



【全景】

起点から終点を望む

H27擁壁工 施工予定位置

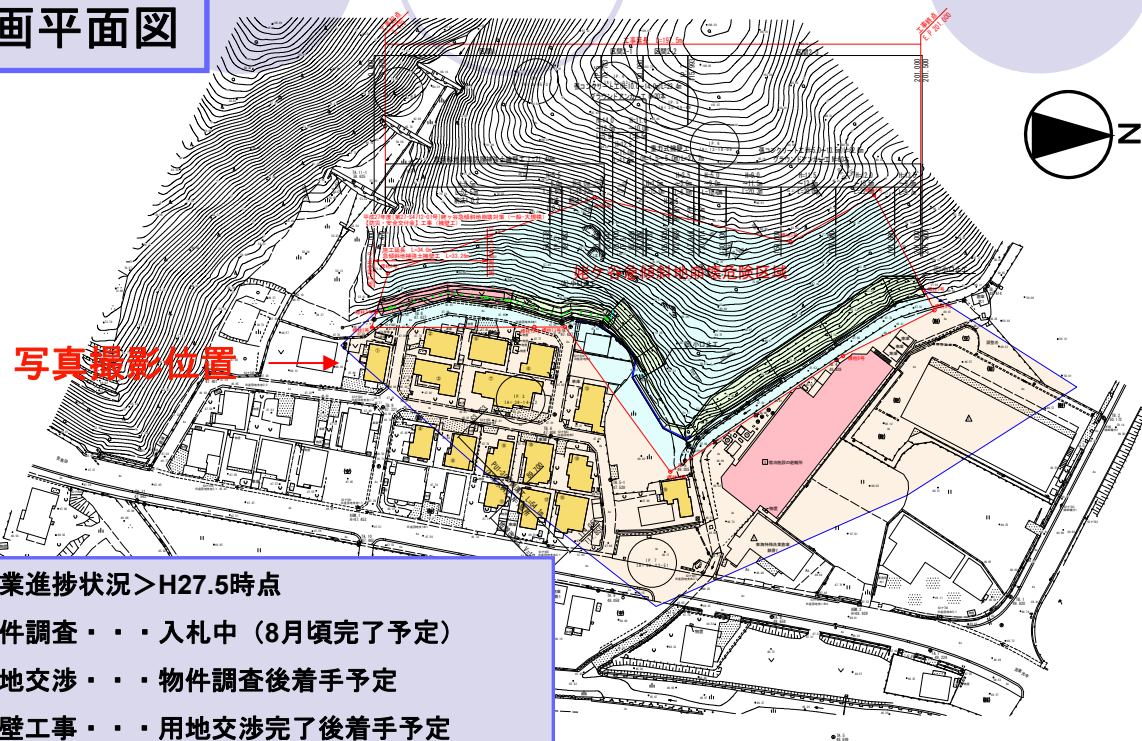
斜面と人家の間に擁壁を設置することによって、土砂災害から人命・財産を守ります。



平成27年5月29日

姥ヶ谷 急傾斜地崩壊対策事業 (島田市阿知ヶ谷)

計画平面図

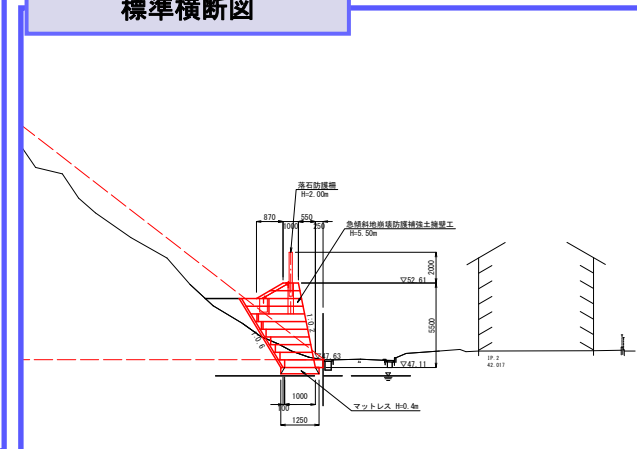


<事業進捗状況> H27.5時点

- ・ 物件調査・・・入札中（8月頃完了予定）
- ・ 用地交渉・・・物件調査後着手予定
- ・ 擁壁工事・・・用地交渉完了後着手予定

凡 例	
過年度施工済	黒色
今年度施工区間	赤色
来年度以降施工	緑色

標準横断面図



【全景】

起点から終点を望む

H27擁壁工 施工予定位置

斜面と人家の間に擁壁を設置することによって、土砂災害から人命・財産を守ります。

